

余市町立旭中学校



学校教育目標(平成元年11月2日制定)

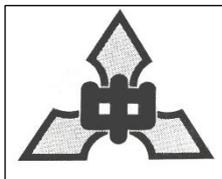
- ・学び続ける生徒
- ・思いやりのある生徒
- ・やりぬく生徒
- ・たくましい生徒

余市町立旭中学校校歌(昭和36年3月制定)

作詞:横山 實 作曲:千葉日出城

- | | | |
|---|--|--|
| 1 山脈は遠くかすみて
潮の香の満ちくるところ
雄々しくぞ立てる学舎
礎は固く太しも | 2 山見れば高き希望を
蒼海は寛容き精神よ
限りなき教示に起ちて
日に磨くわが身わが魂 | 3 東に昇る旭よ
とことわの栄を見せて
日に新た日々新たに
進まん若きわれらぞ |
|---|--|--|

【校章】



昭和30年6月
制定

◇校章のいわれ◇

3つの頂点は、〈知育〉・〈徳育〉・〈体育〉をそれぞれ表現し、中央に「中」を置き、その周囲の3つの輪は、人の和を象徴したものである。

◇設定までの経緯◇

校章を設定するにあたり公募を実施した。応募のあったものはいずれも「Y」、「余」の図案化したもので安定感がなく採用するにいたらず、初代島田校長が三角形を描きその各辺を弧でカットし中央に「中」を描き原型を作成。谷教諭、及川教諭に加筆してもらい、地の無数の点は砂地を表しているものを全職員で決定した。校章は、昭和30年6月25日に制定された。

【沿革】

昭和29年4月、第二東中学校として東中学校に並置して発足。同年12月には第1期の新校舎の起工式が行われる。翌30年5月には現在地に移転し、7月に旭中学校に校名変更を行う。

その後、校章・校歌の制定、教育目標の一部改訂などを経て、昭和63年に新校舎が完成し、翌年に移転を完了する。平成16年には、50周年記念式典を挙げる。令和6年には開校70周年を迎え、現在に至る。

【概要】

○生徒数：117名(1年生:35名 2年生:45名 3年生:37名)

○教職員：24名(校長、教頭、教諭、養護教諭、事務職員、支援員、校務補、給食調理員)

○所在地：〒046-0004 余市郡余市町大川町16丁目1番地

☎ 0135(22)2075 📠 0135(22)6437